

図1. 異常行動（重度）の発熱週と発生動向調査

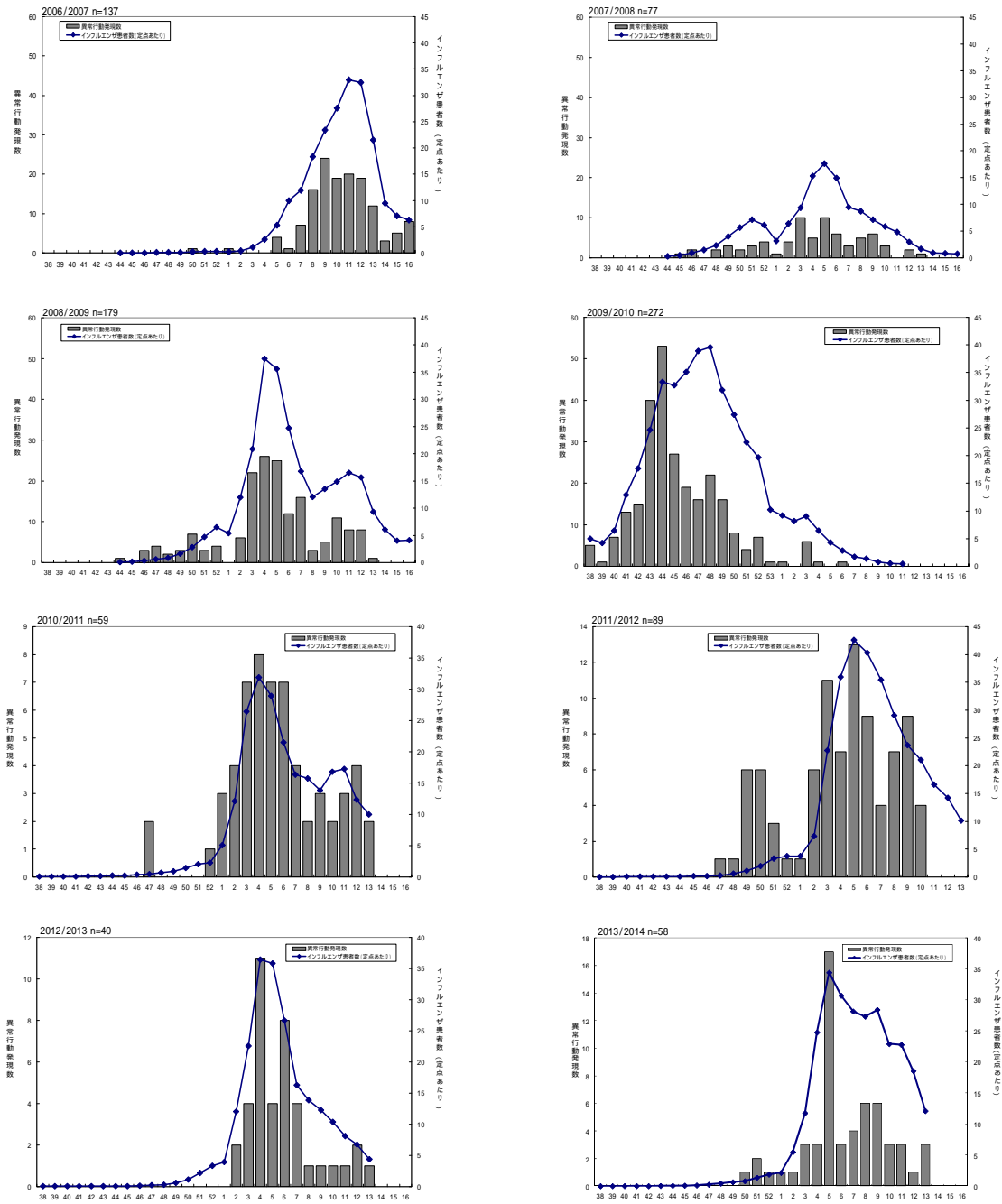


図2. 患者の年齢

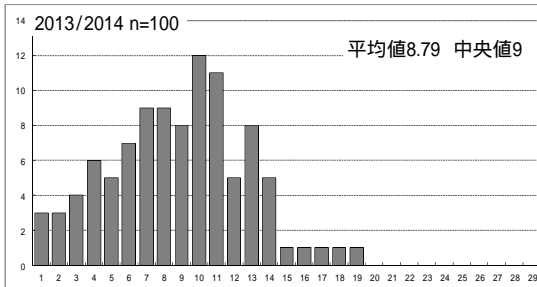
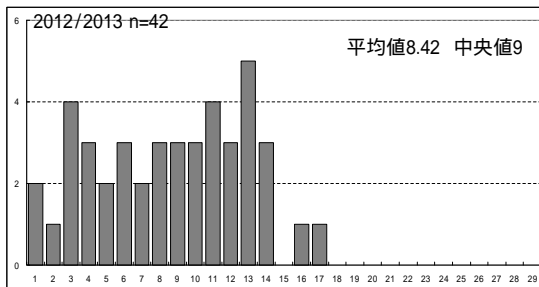
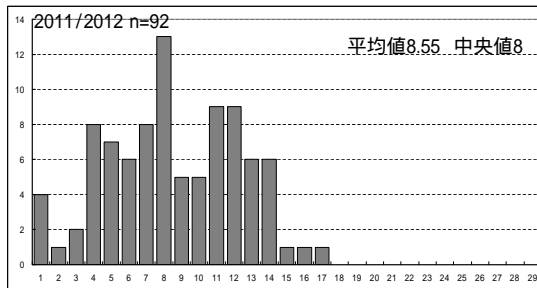
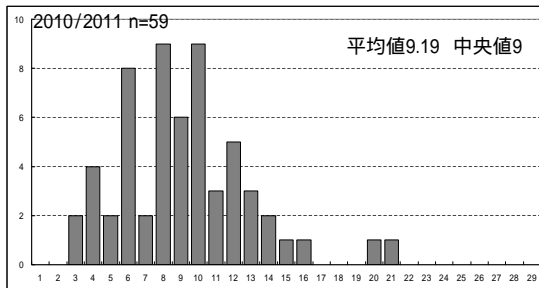
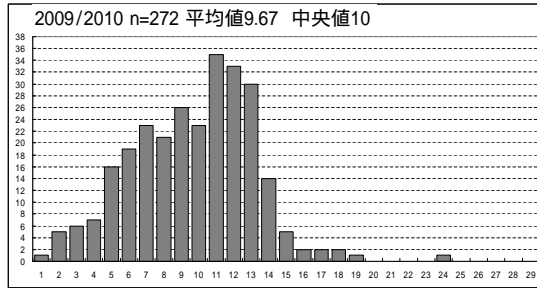
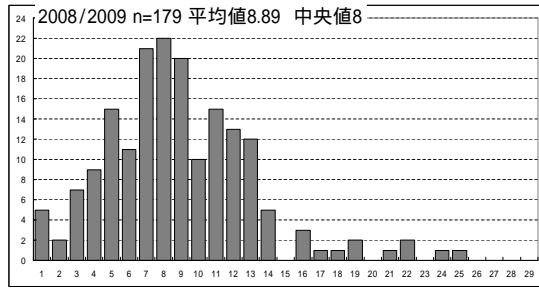
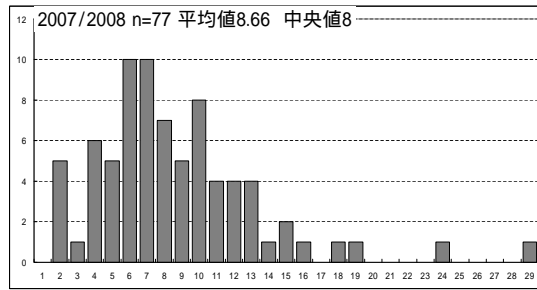
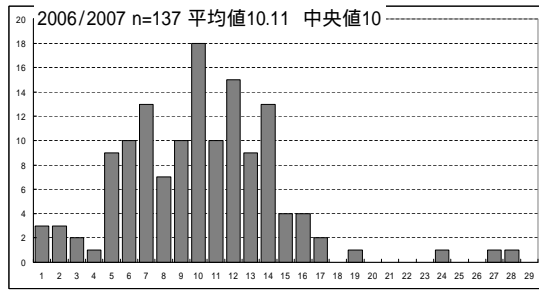


図3. 患者の性別

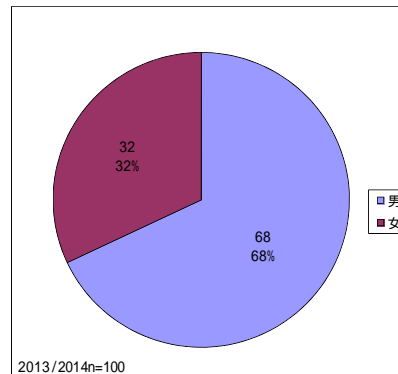
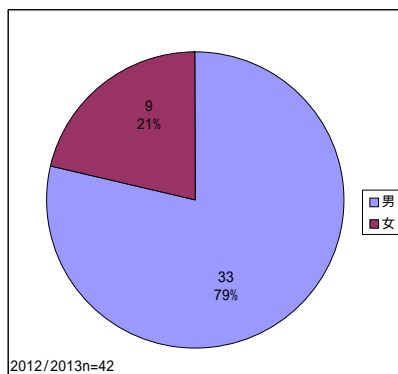
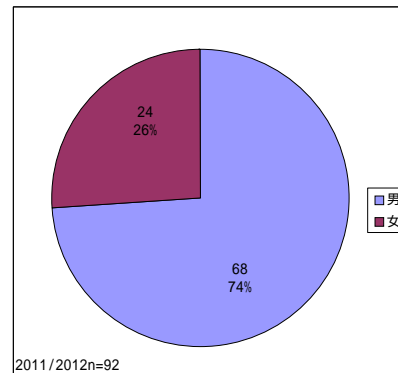
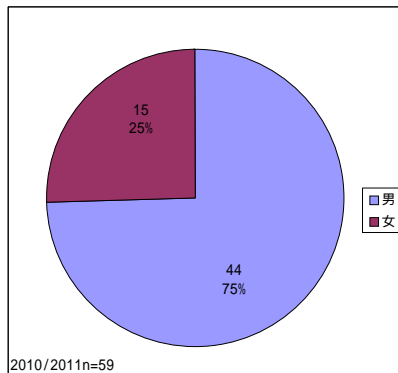
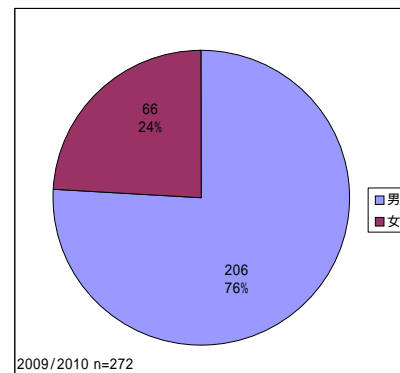
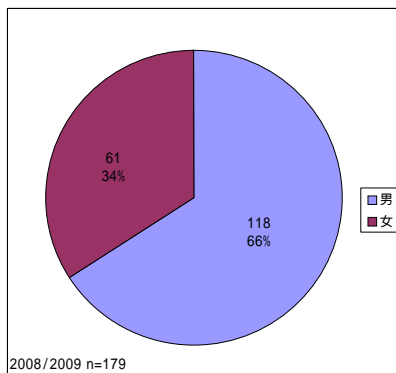
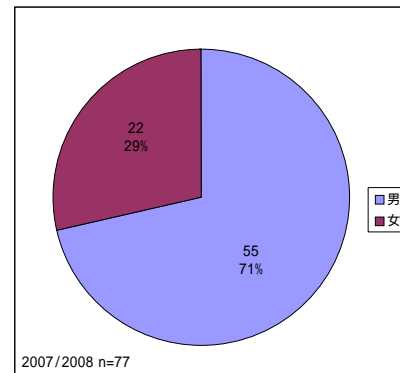
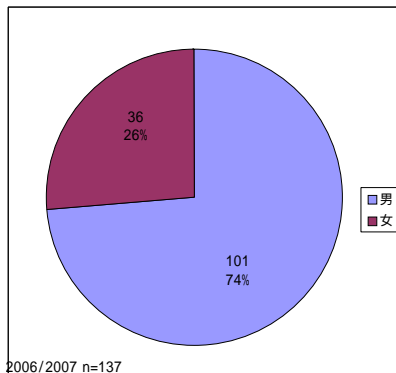


表1. 2013/2014シーズンの全ての重度の異常行動の発現における性差
 (A) 5歳未満と5歳以上10歳未満における性差
 (症例数)

	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	9	23
女性	7	15

厳密検定の確率値=0.772

(B) 6歳未満と6歳以上10歳未満における性差
 (症例数)

	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	10	22
女性	11	11

厳密検定の確率値=0.256

表2．発熱から異常行動発現までの日数

	(2007/2008)		(2008/2009)		(2009/2010)		(2010/2011)		(2011/2012)		(2012/2013)		(2013/2014)	
	重度		重度		重度		重度		重度		重度		重度	
発現日	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
発熱後 1日以内	25	33.33	47	27.01	66	24.72	13	22.03	25	28.09	11	26.83	29	29.90
2日目	37	49.33	87	50.57	151	56.55	36	61.02	46	51.09	23	56.10	52	53.61
3日目	11	14.67	22	12.64	42	15.73	8	13.56	8	8.99	3	7.32	9	9.28
4日目	2	2.67	17	9.76	8	2	2	3.38	10	11.23	4	9.76	7	7.21
	75	100	173	100	267	100	59	100	89	100	41	100	97	100

	走り出し、飛び降りのみ		走り出し、飛び降りのみ		走り出し、飛び降りのみ		走り出し、飛び降りのみ		走り出し、飛び降りのみ		走り出し、飛び降りのみ		走り出し、飛び降りのみ	
発現日	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
発熱後 1日以内	14	35	24	28.57	33	23.7	11	39.29	14	28.57	8	29.63	18	31.03
2日目	19	47.5	45	53.57	75	55.56	12	42.86	28	57.14	17	62.96	33	56.90
3日目	6	15	9	10.71	24	17.78	5	17.86	2	4.08	1	3.7	5	8.62
4日目 以降	1	2.5	6	7.15	4	2	0	0	5	10.20	1	3.7	2	3.45
	40	100	84	100	136	100	28	100	49	100	27	100	58	100

图 4 . 最高体温

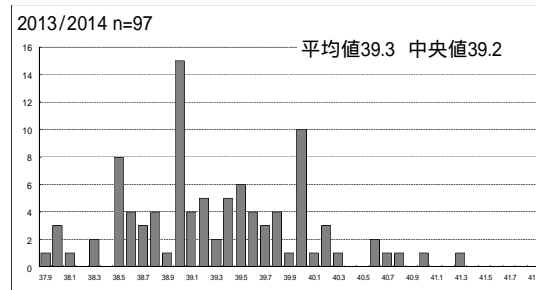
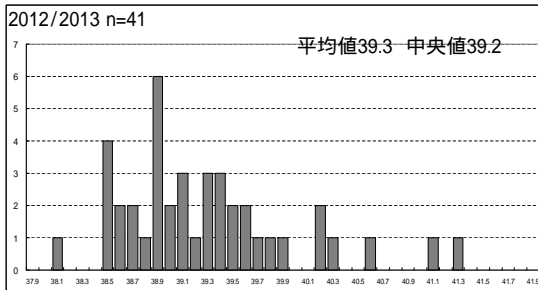
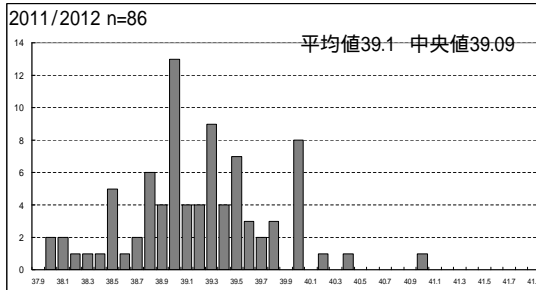
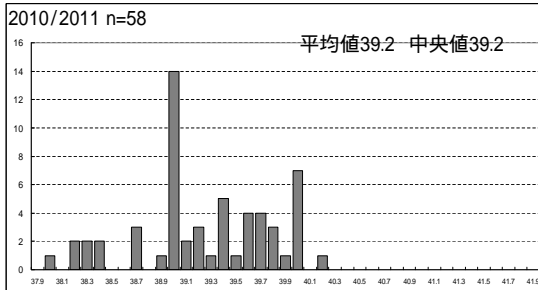
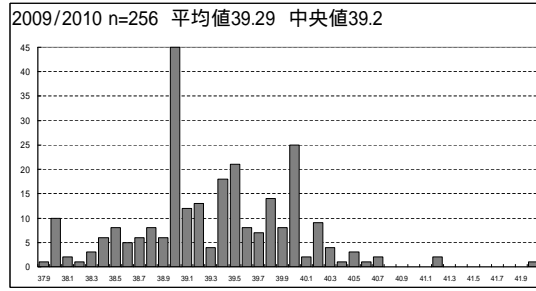
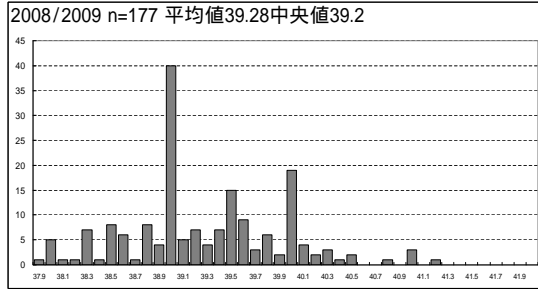
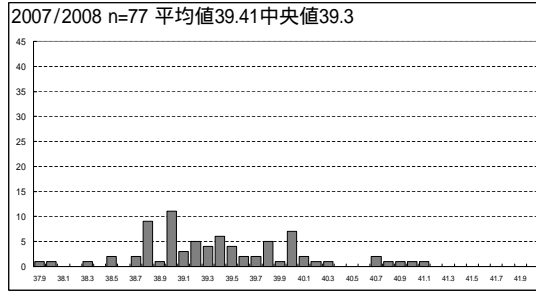
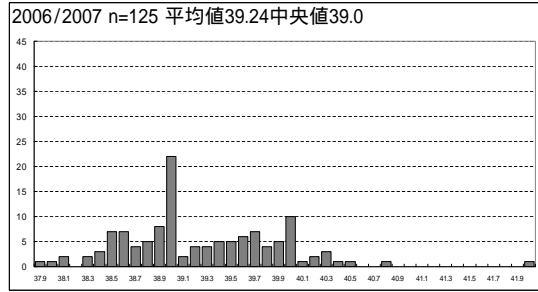


図5. インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無

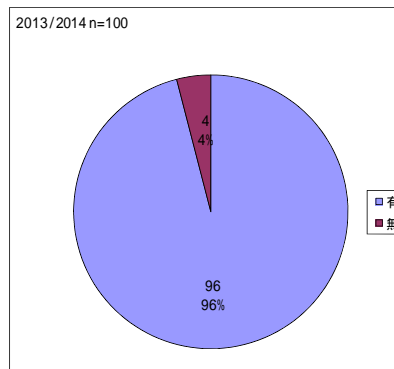
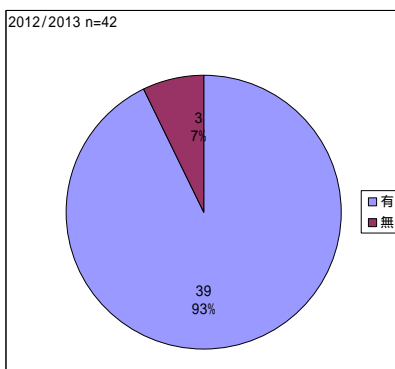
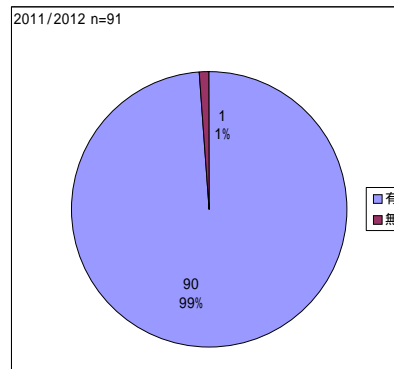
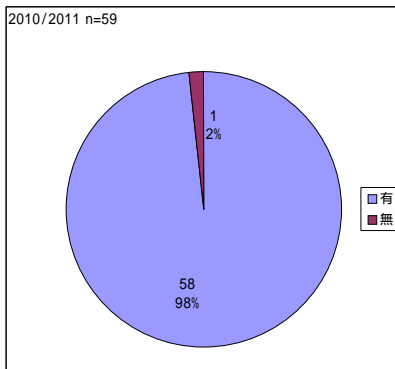
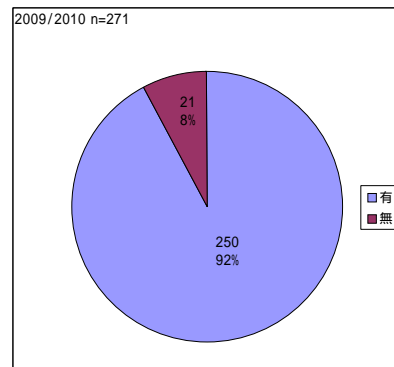
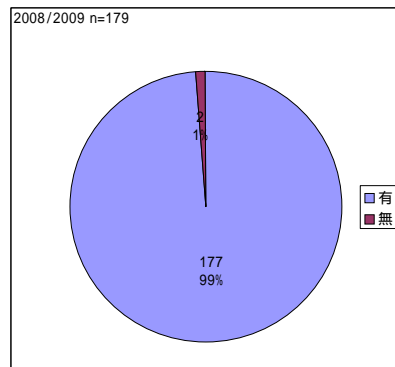
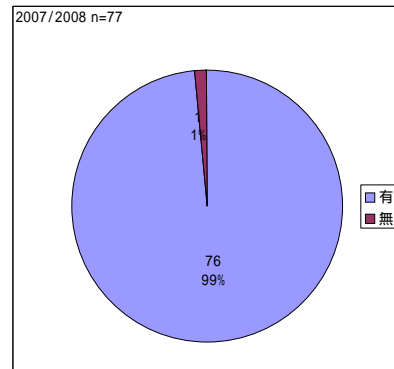
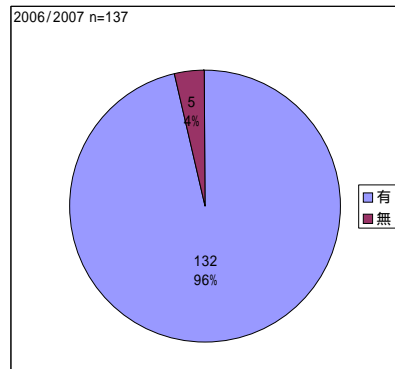


図6. 迅速診断キットによる検査結果

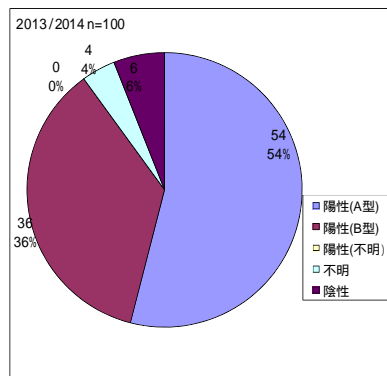
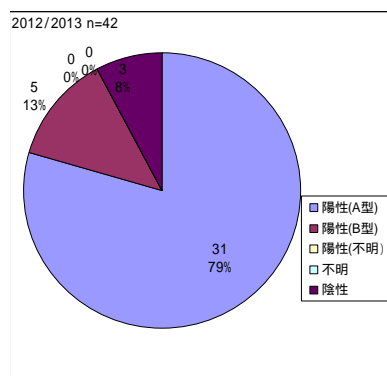
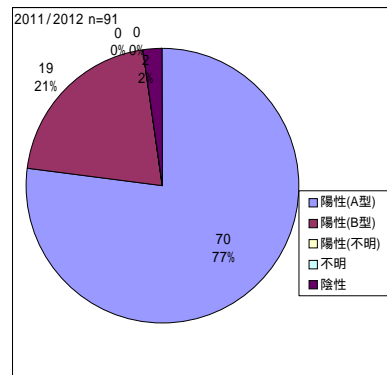
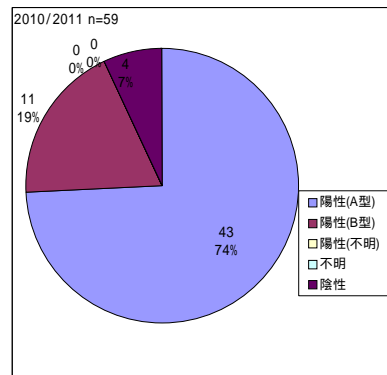
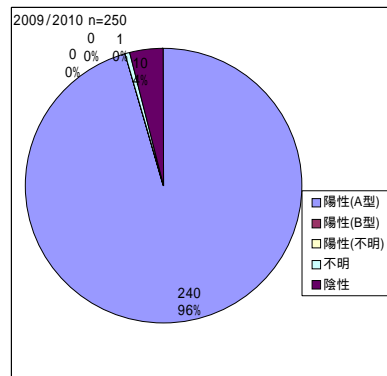
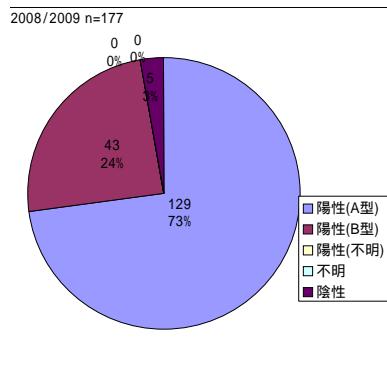
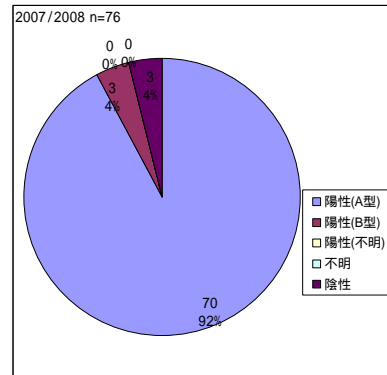
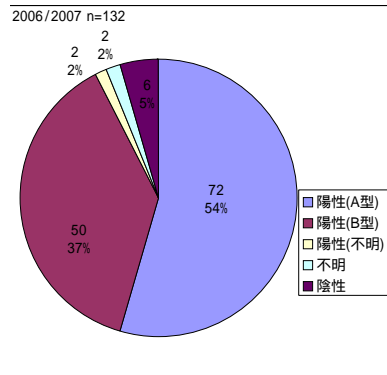
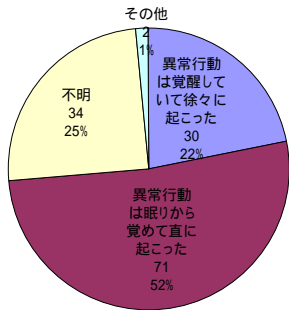
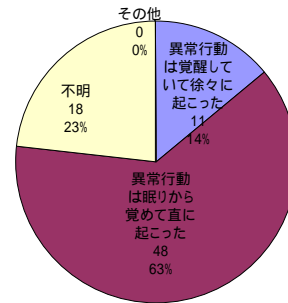


図7. 異常行動と睡眠の関係

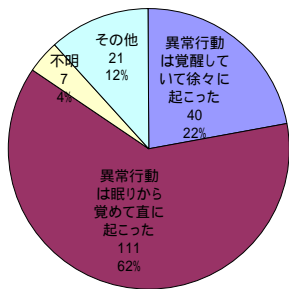
2006/2007 n=137



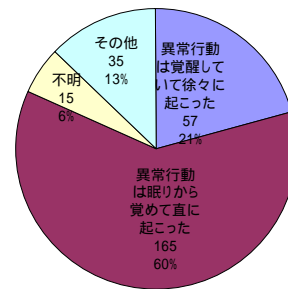
2007/2008 n=77



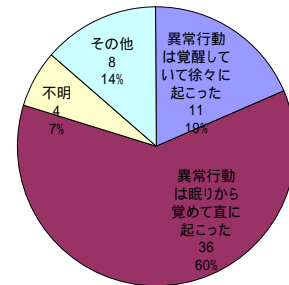
2008/2009 n=179



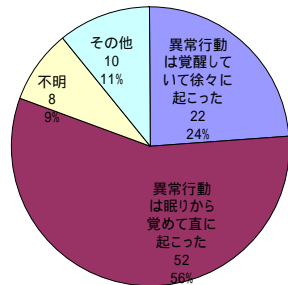
2009/2010 n=272



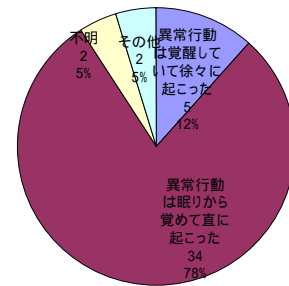
2010/2011 n=59



2011/2012 n=92



2012/2013 n=42



2013/2014 n=100

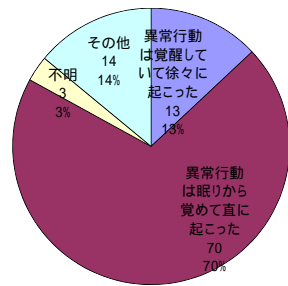
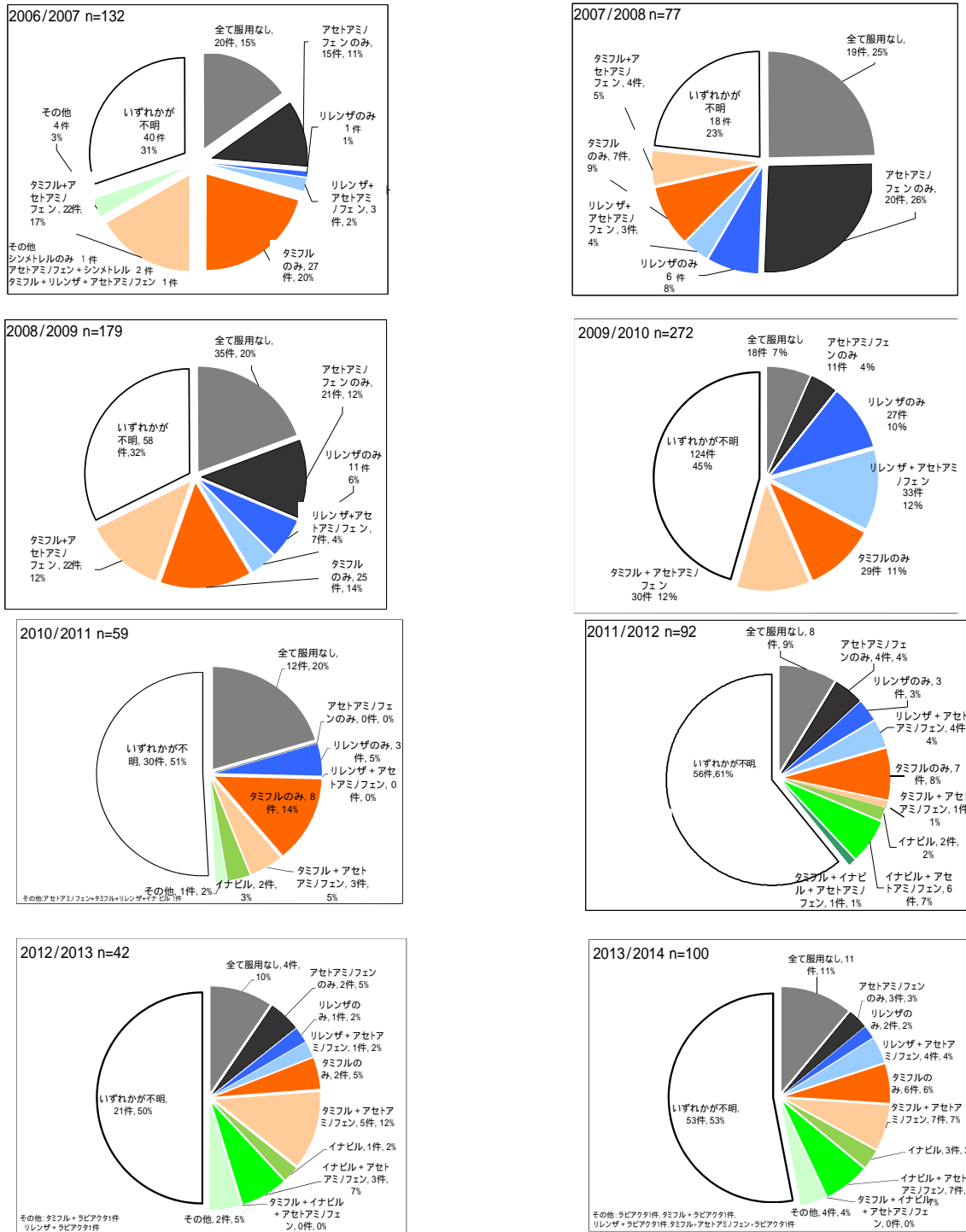


図 8 . 服用した薬の組み合わせ

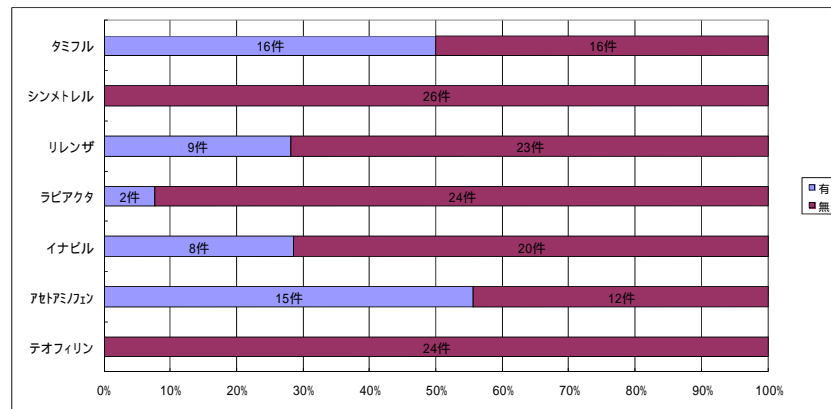


注：オセルタミビル、アマンタジン、ザナミビル、アセトアミノフェン、ペラミビル(2009/2010以降のみ)、ラニナミビル(2010/2011以降のみ)、テオフィリン(2012/2013以降のみ)の7剤の服用の有無が明らかな症例についての内訳。7剤のうち一部の薬剤服用があっても、他の調査薬剤の服用状況が不明な症例は「いずれかが不明」に分類。

図9. 薬の服用の有無

当該薬剤の服用状況が明らかな者の内、服用した者の割合(他の薬剤の服用状況は考慮せず)

2012/2013



2013/2014

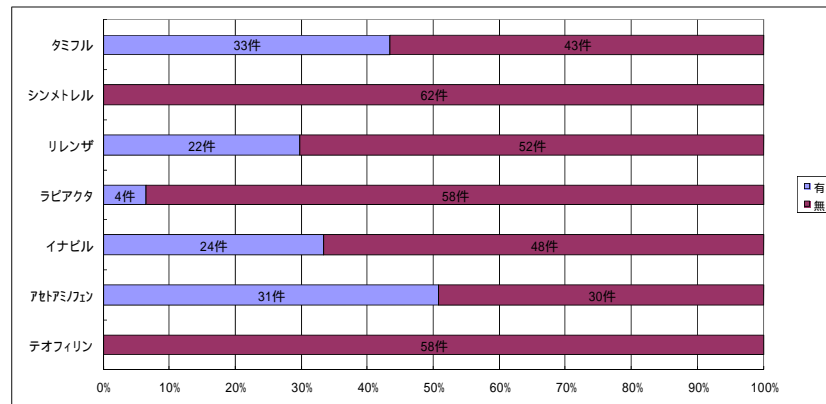


図 10. 異常行動の分類 (複数回答)

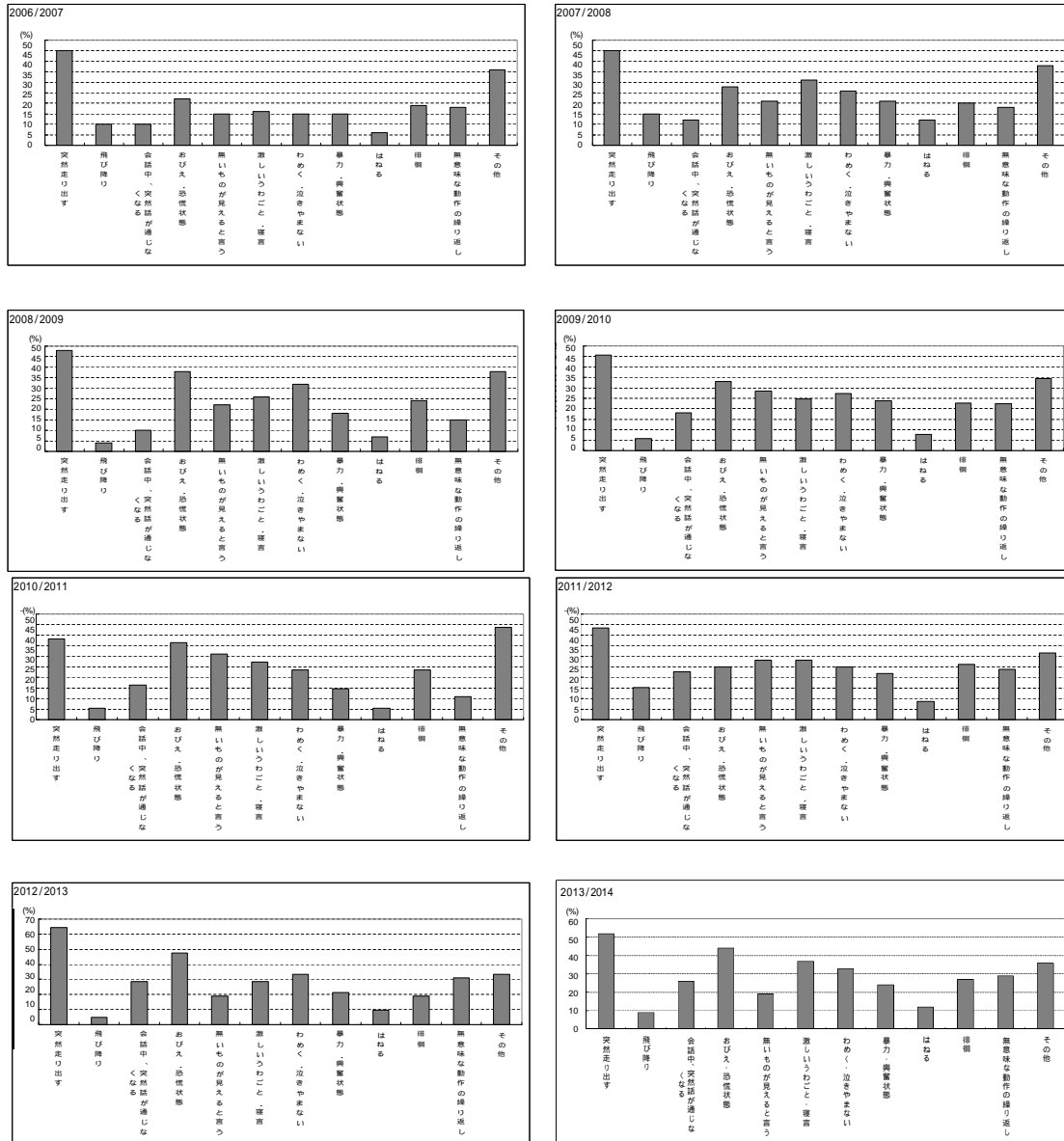


図 11. 患者の年齢 (対象: 突然走り出す・飛び降りのみ限定)

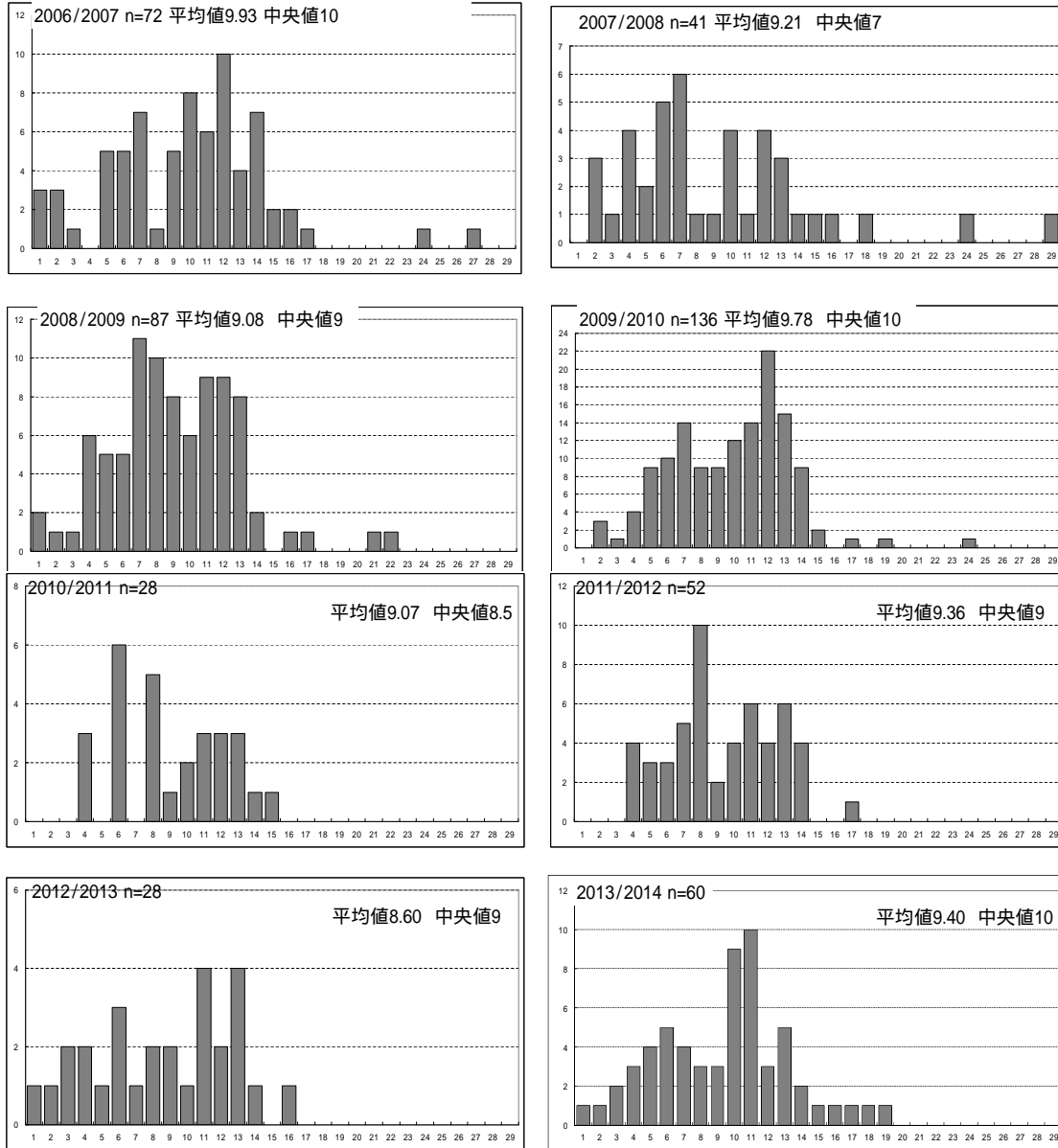


図 12 . 患者の性別 (対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ限定)

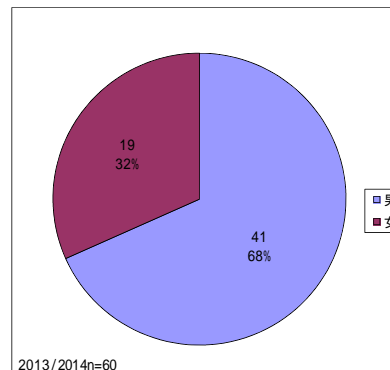
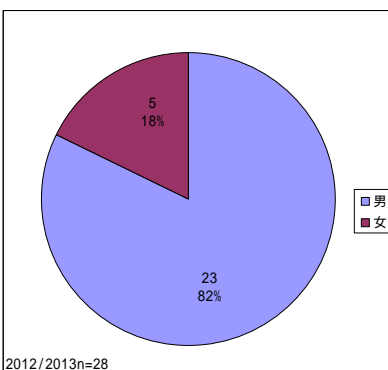
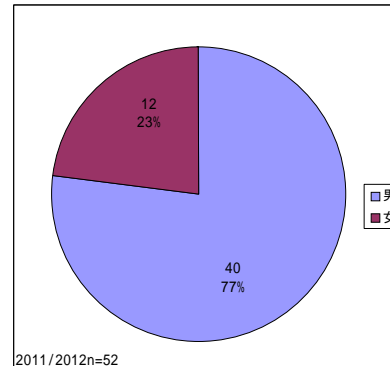
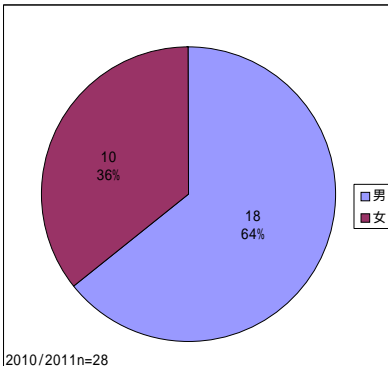
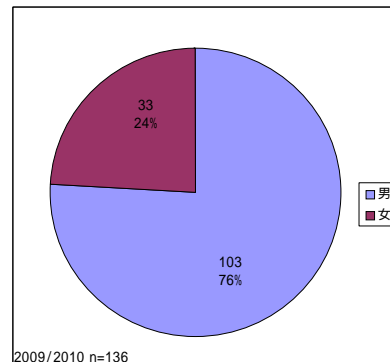
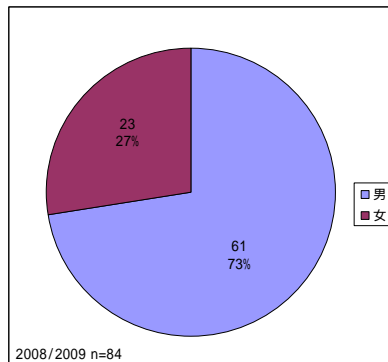
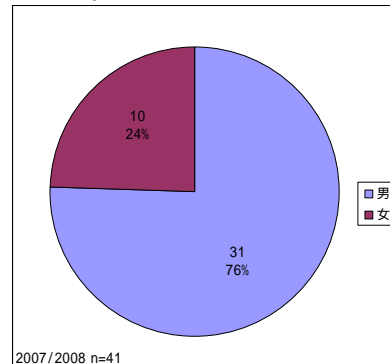
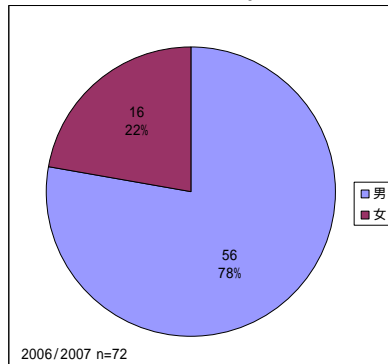


表3. 2013/2014シーズンの最も重度な異常行動の発現における性差
 (A) 5歳未満と5歳以上10歳未満における性差
 (症例数)

	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	6	9
女性	1	10

厳密検定の確率値=0.178

(B) 6歳未満と6歳以上10歳未満における性差
 (症例数)

	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	6	9
女性	5	6

厳密検定の確率値=1.000

図 13 . 最高体温 (対象：突然走り出す・飛び降りの方に限定)

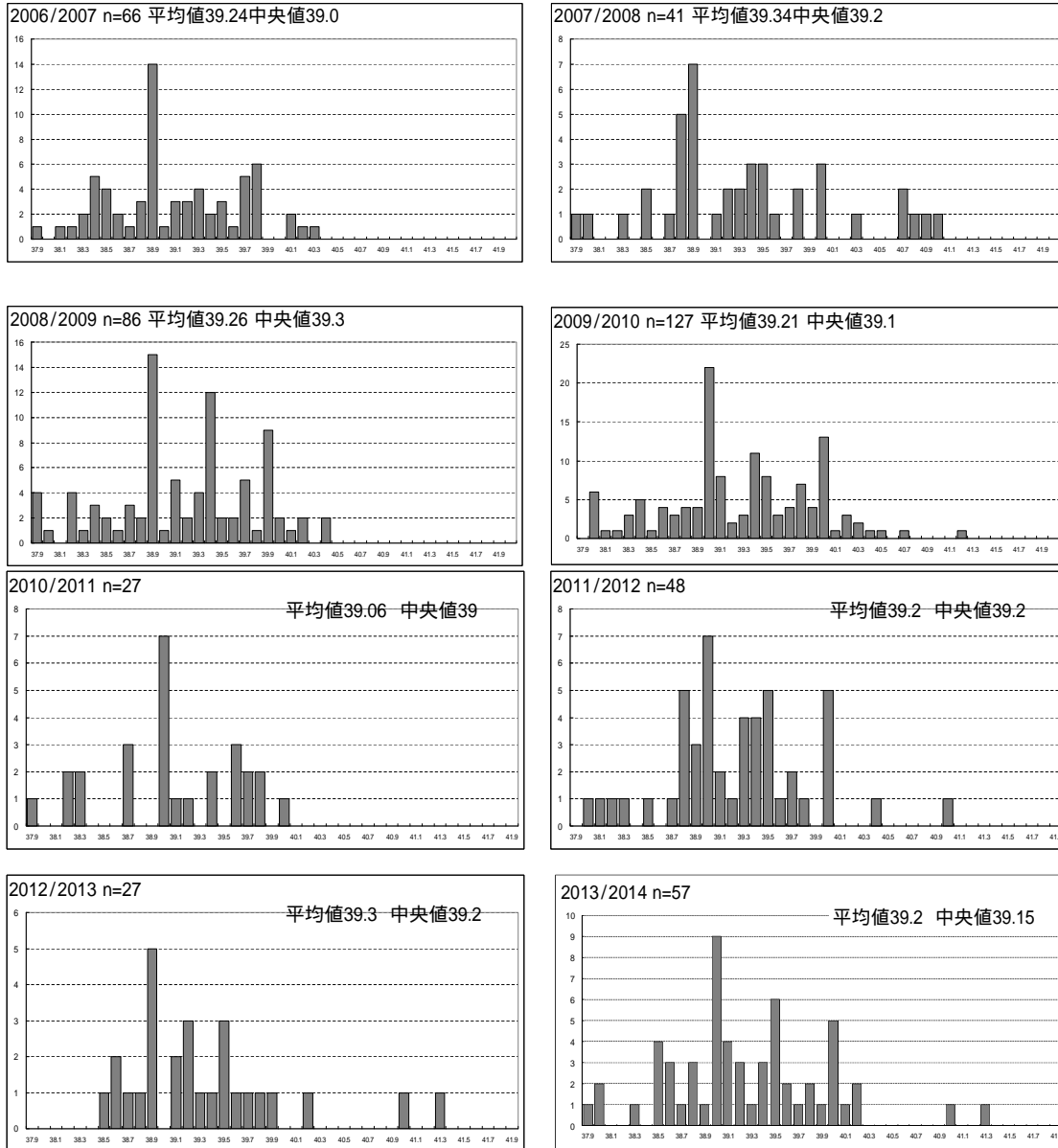


図 14 . インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無
 (対象：突然走り出す・飛び降りのみ限定)

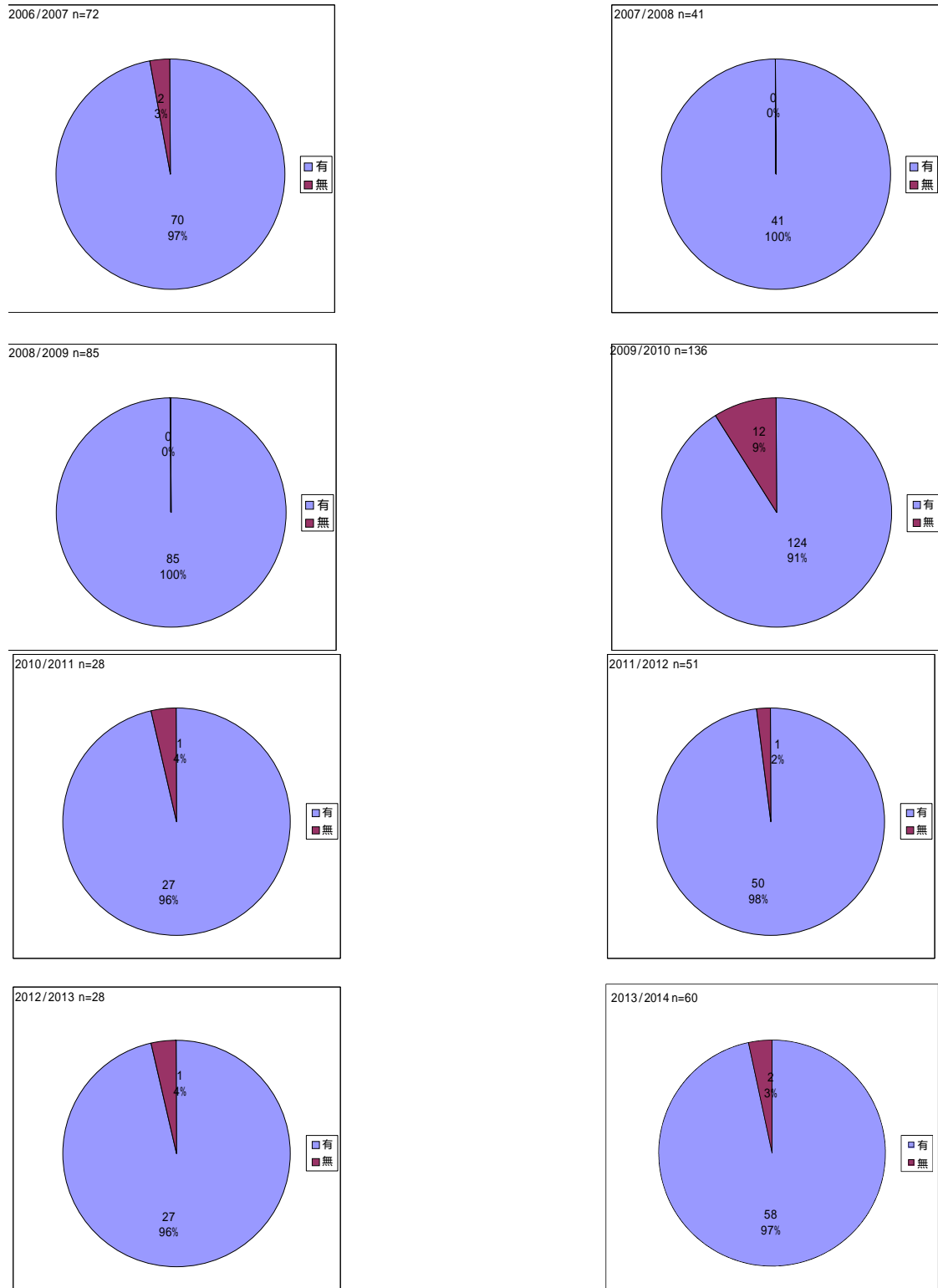


図 15. 迅速診断キットによる検査結果（対象：突然走り出す・飛び降りのみ限定）

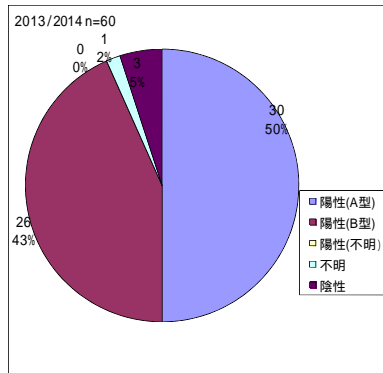
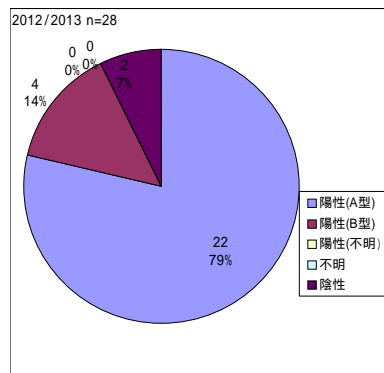
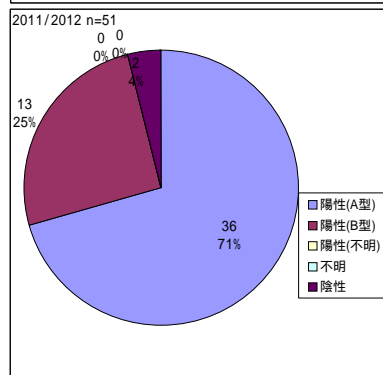
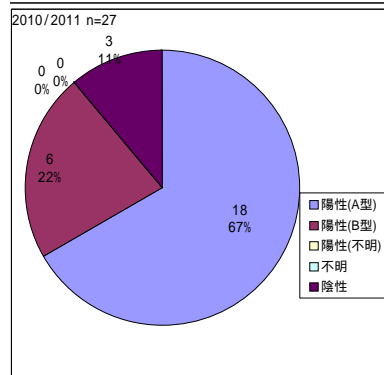
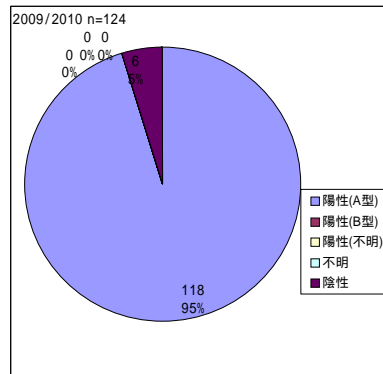
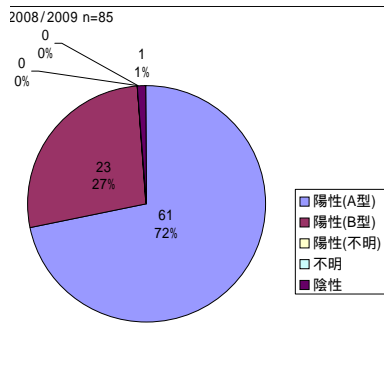
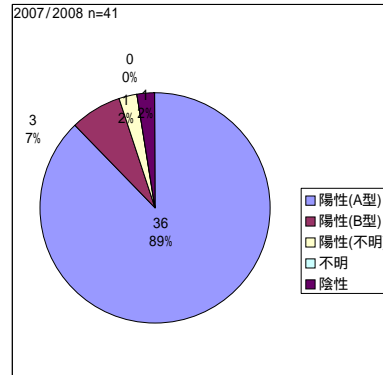
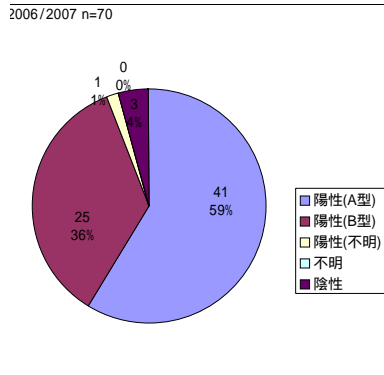
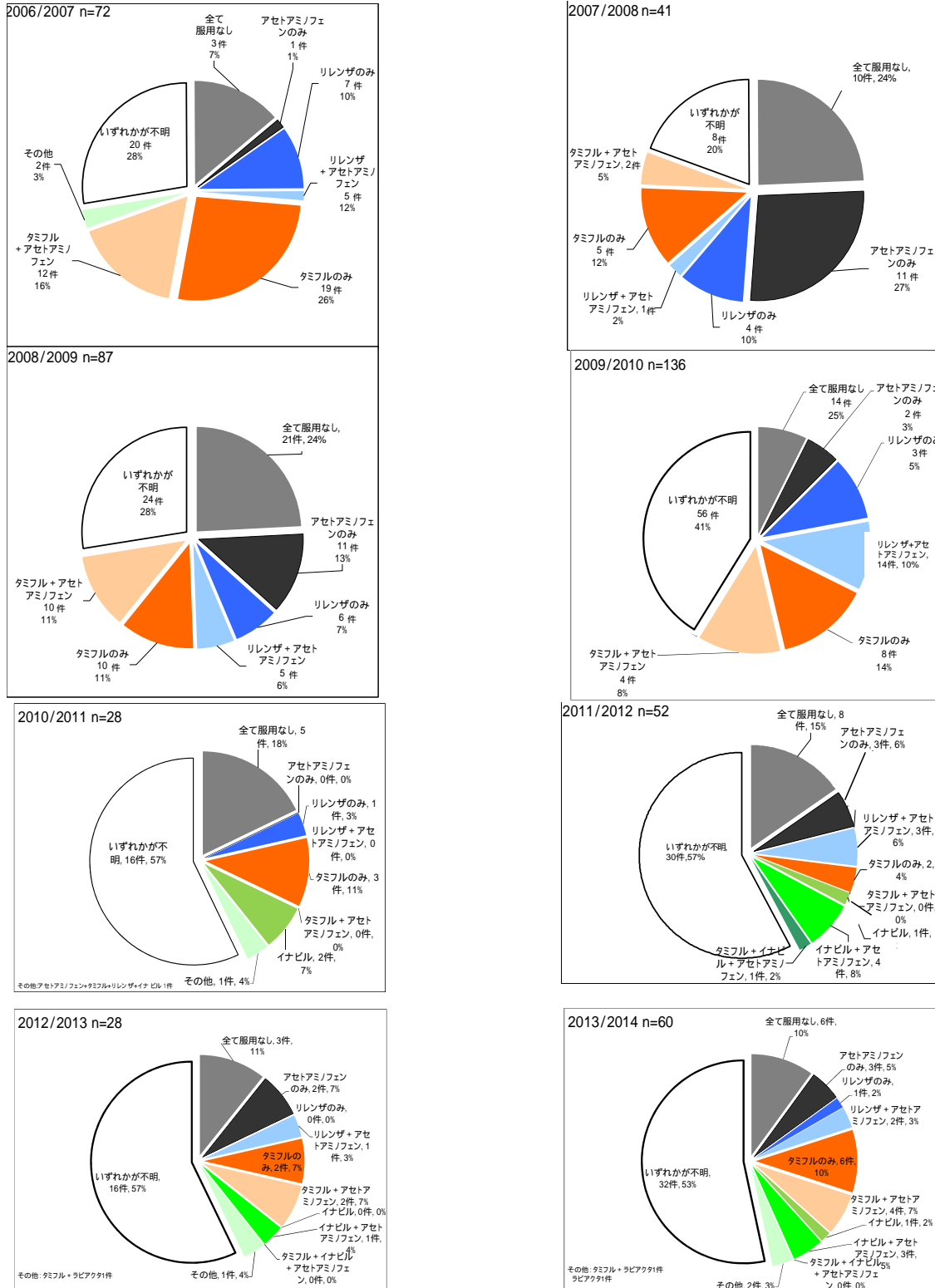


図 16 . 服用した薬の組み合わせ (対象 : 突然走り出す・飛び降りのみに限定)

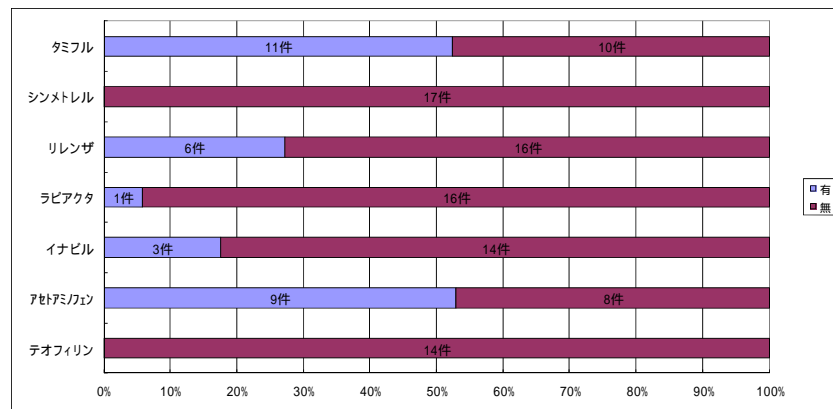


注 : オセルタミビル、アマンタジン、ザナミビル、アセトアミノフェン、ペラミビル(2009/2010以降のみ) ラニナミビル(2010/2011以降のみ) テオフィリン(2012/2013以降のみ)の7剤の服用の有無が明らかな症例についての内訳。7剤のうち一部の薬剤服用があっても、他の調査薬剤の服用状況が不明な症例は「いずれかが不明」に分類。

図 17 . 薬の服用の有無 (対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ限定)

当該薬剤の服用状況が明らかな者の内、服用した者の割合 (他の薬剤の服用状況は考慮せず)

2012/2013



2013/2014

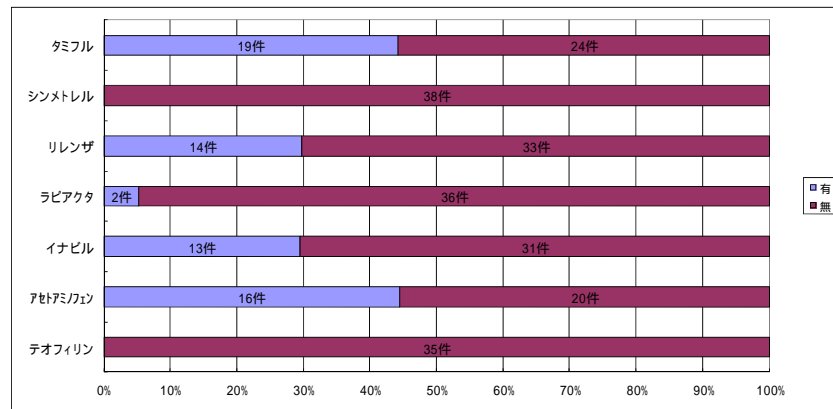


図 18 . 異常行動と睡眠の関係 (対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ限定)

